

愛の便り

校訓: 志が人生を創る

雲仙市立愛野中学校 学校便り

令和6年 6月 7日

第88号

文責 (校長; 末永栄喜)



市中総体始まる 健闘を祈る!!

いよいよ明日から雲仙市中総体球技・武道大会が開催されます。天気が心配されますが、本校の場合は雨に左右される競技はないので予定通りの試合進行となりそうです。

また、同じく陸上大会は再来週の18日(火)が開催日、そして、野球部は3校合同のクラブチームとして、今月末29日(土)から始まる予選会に挑みます。それぞれが照準を合わせ、これからの練習にも熱が入ることでしょう。

一昨日、激励式を行いました。どの部もキャプテンの決意表明に込められた熱意や意気込みを十分に感じることができ、吹奏楽部による激励演奏で学校全体の士気を高めたところです。それぞれの部の目標が実現できることを願っています。吉報を待ちましょう。



ところで、既にご承知のように、今年度の市中総体から、振替休日がない週休日での開催となりました。授業扱いはないので、吹奏楽部や部活動に入部していない生徒は普通のお休みとなるわけです。もちろん、応援は可能ですし行く・行かないも自由です。(行く場合は、配布された「応援心得」をしっかり守ってください。)

選手として出場する皆さんは、大会後は疲労回復に努め体調管理には気を配りながら、月曜日は元気に登校してほしいと思います。部活動をしていますというのであれば**弱音を吐かず、言い訳をせず、甘えず、責任を持って**自分の体をいたわってほしいのです。

それ以外の皆さんは、時間を有効に使ってこの土日を過ごしてください。仲間が必死で頑張っている同じ時間帯をどのように過ごすかは、言わないまでもわかっていることだと思います。もうすぐ**期末テスト(26~28日)**があります。



今年度のような大会運営になった背景についても、先般お知らせしたとおりです。部員数の減少や部活動のクラブ化が進む中、対戦相手がいなかったため試合ができない競技があったり、大会が開けたとしても極端に試合数や種目別の出場者数が少なくなったりしている現状です。

そんな中での中総体だからこそ、忘れないでほしいことがあります。それは、「**新入生を加えてのフル出場で、先輩たちが名を連ねるチームと渡り合う部もある**」「**実力が**

拮抗している同輩たちと、接戦を展開する競技もある」。みんな必死です。さらには、「他校との仲間とわずか数か月で築き上げたチームワークで代表権を勝ち取ろうと必死でもがく部もあれば、中学校入学と同時に始めた経験の浅い中で、極度の緊張と闘いながら精いっぱい頑張っている人だっている」ということです。また、試合がなく自動的に県大会への推薦を受けるチーム・選手もあります。

どんな場面でも、**相手をリスペクトすること、相手に敬意を払うことを忘れないでほしい**と思います。スポーツマンシップに反する表情や言動はもってのほかです。そんなチームに「優勝しました」「県大会に行きます」と言われても、素直に「頑張っておいて」とは残念ながら言えません。

これまでの大会で何枚賞状を取ったかにさほど意味はなく、一枚も取れなかったということも関係ありません。

真に応援してもらえるチームとして、次のステップに進んでほしいと心から願っています。そんな試合を期待しています。

一昨年この日は、「『1』への執念」という言葉を紹介しました。あと1点、一本、1セット、あと一步、あと1秒、1勝、もう一踏ん張り、チーム愛野としての一体感などです。

そして、昨年は「『勝ちたい』のか『負けたくない』」のか、あなたはどっちだ?という話をしました。

今年度は純粋に、「**精いっぱい頑張れ**」「**悔いが残らないように完全燃焼せよ**」「**持てる力を存分に発揮しろ**」という言葉で贈って激励したところです。これ以上もこれ以下もないからです。心から選手の皆さんの健闘を祈ります。



※競技ごとの組み合わせや試合時間は、昨日安心メールで配信した「部活動便り第6号」(雲仙市立愛野中学校長会発行)でご確認ください。また、試合結果については随時安心メールで報告する予定です。

紫陽花の花満開

アジサイの花が咲き誇る季節となりました。本校でも2年生の玄関脇に、紫と青紫色の花がひと際きれいに咲いています。校長室前にも飾っていただき、気持ちよく毎日を過ごしているところです。「念ずれば花ひらく」という詩で有名な詩人 坂村真民さんをご存知でしょうか。今日は「あじさいの花」という詩を紹介します。

まるくまるく
形のよいものになろうとする
やさしい心の
あじさいの花
きのうよりもきょうと
新しい色になろうとする
雨の日の
あじさいの花



小さく咲いた花が集まって一つの大きな花を見せる紫陽花。それも微妙に色合いが違います。この紫陽花のように、愛中も「まるくまるく」まとまって、昨日よりも今日、今日よりも明日と、新しい自分の色を輝かせてほしいと願います。

「**結束**」にも似たイメージを受けたので掲載しました。